

野田村
子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査
結果報告書

令和2年2月

野田村

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の実施方法	1
3 配布と回収状況	1
4 調査結果の見方	2

II 就学前児童調査

1 お住まいの地域について	3
2 お子さんご家庭の状況について	3
3 お子さんの育ちをめぐる環境について	5
4 保護者の就労状況について	6
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	14
6 子育て支援拠点の利用状況について	18
7 土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	19
8 病気の際の対応について（平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ）	19
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	21
10 放課後の過ごし方について	25
11 野田村の子育て環境や支援について	28

II 小学生調査

1 お住まいの地域について	29
2 お子さんご家庭の状況について	29
3 保護者の就労状況について	31
4 放課後の過ごし方について	35
5 病気の際の対応について	38
6 野田村の子育て環境や支援について	40

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第2期野田村子ども子育て支援事業計画（令和2年度から令和6年度）を策定するために実施したものです。

2 調査の実施方法

調査対象：村内在住の「就学前児童」がいる家庭の保護者

村内在住の「小学生児童（1～4年生）」がいる家庭の保護者

調査期間：令和2年1月28日（火）～2月7日（金）

調査方法：保育所及び小学校における配布・回収、郵送配布・回収

3 配布と回収の状況

調査票	配布数	回収数	回収率
就学前児童	135 件	100 件	74.1%
小学生児童	61 件	52 件	85.2%
合計	196 件	152 件	77.6%

4 調査結果の見方

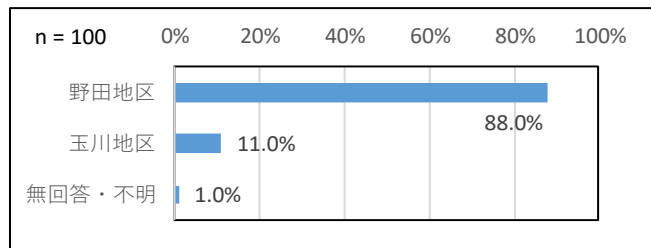
- 各設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を示しています。
- 集計は、小数点第2以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しており、合計が100%になっています。（ただし、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります）

Ⅱ 就学前児童調査

お住まいの地域について伺います。

問1 お住いの地区はどこですか。

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 野田地区	88	88.0%
2 玉川地区	11	11.0%
無回答・不明	1	1.0%
全体	100	100.0%

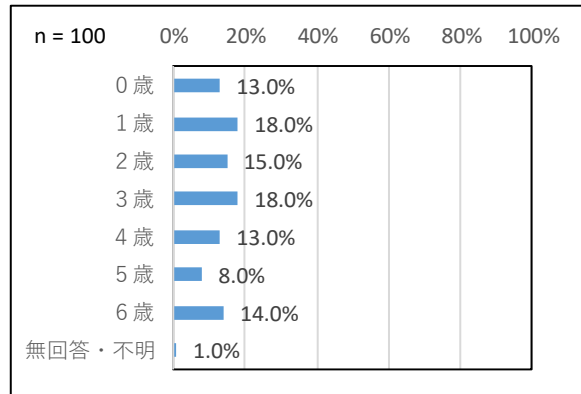


回答者の居住地区は「野田地区」が88.0%、玉川地区が11.0%となっています。

封筒の宛名のお子さんご家庭の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。
(該当する年号に○をし、口内に数字でご記入ください)

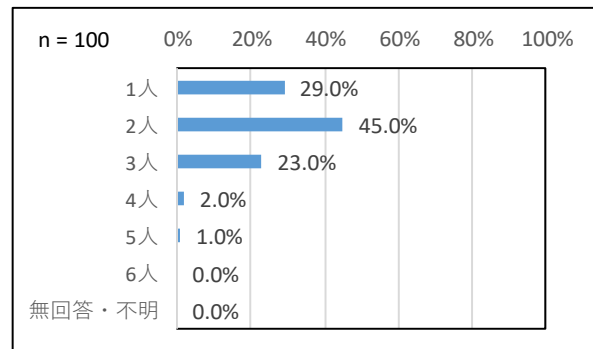
選択肢	人数	割合
1 0歳	13	13.0%
2 1歳	18	18.0%
3 2歳	15	15.0%
4 3歳	18	18.0%
5 4歳	13	13.0%
6 5歳	8	8.0%
7 6歳	14	14.0%
無回答・不明	1	1.0%
合計	100	100%



子どもの年齢は、「1歳」と「3歳」が18.0%と最も多く、次いで「2歳」が15.0%、「6歳」が14.0%、「0歳」と「4歳」が13.0%、「5歳」が8.0%となっています。

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。
(宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください)

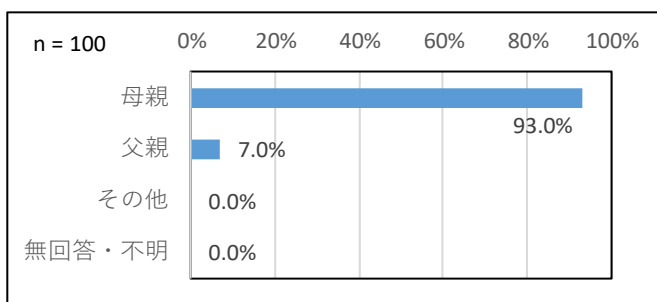
選択肢	人数	割合
1 1人	29	29.0%
2 2人	45	45.0%
3 3人	23	23.0%
4 4人	2	2.0%
5 5人	1	1.0%
6 6人	0	0.0%
無回答・不明	0	0.0%
合計	100	100%



子どもの数は、「2人」が45.0%と最も多く、次いで「1人」が29.0%、「3人」が23.0%、「4人」が2.0%、「5人」が1.0%となっています。

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください（あてはまる番号1つに○）

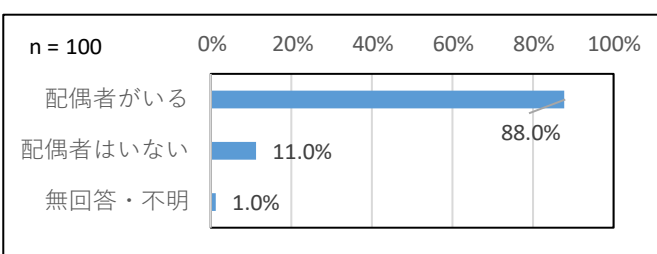
選択肢	人数	割合
1 母親	93	93.0%
2 父親	7	7.0%
3 その他	0	0.0%
無回答・不明	0	0.0%
合計	100	100%



この調査票に回答した人は、「母親が」93.0%、次いで「父親」が7.0%となっています。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
（あてはまる番号1つに○）

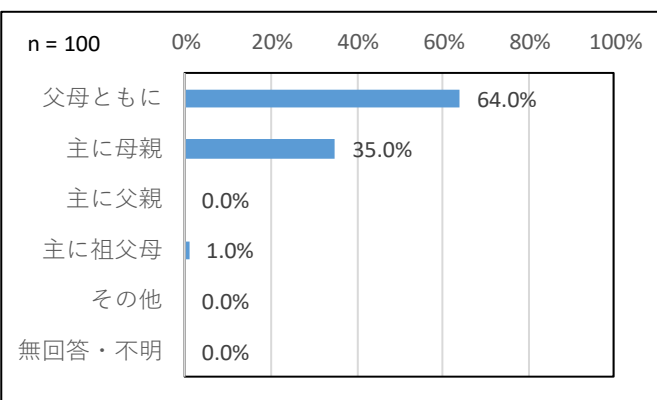
選択肢	人数	割合
1 配偶者がいる	88	88.0%
2 配偶者がいない	11	11.0%
無回答・不明	1	1.0%
合計	100	100%



回答者の配偶者については、「配偶者がいる」が88.0%、「配偶者がいない」が11.0%となっています。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか？
（あてはまる番号1つに○）

選択肢	人数	割合
1 父母ともに	64	64.0%
2 主に母親	35	35.0%
3 主に父親	0	0.0%
4 主に祖父母	1	1.0%
5 その他	0	0.0%
無回答・不明	0	0.0%
合計	100	100%

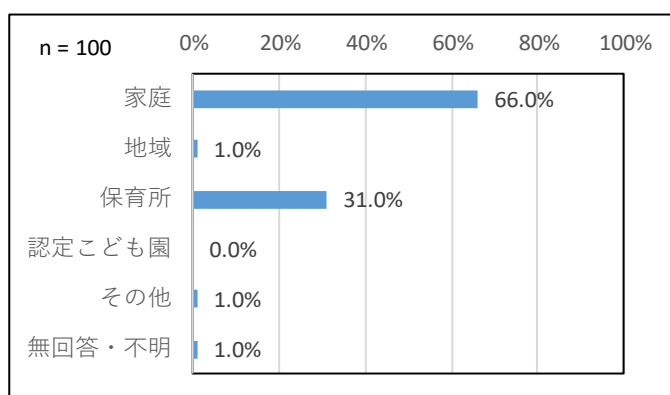


子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が64.0%で最も高く、次いで「主に母親」が35.0%となっています。

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境について伺います。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか？
（あてはまる番号1つに○）

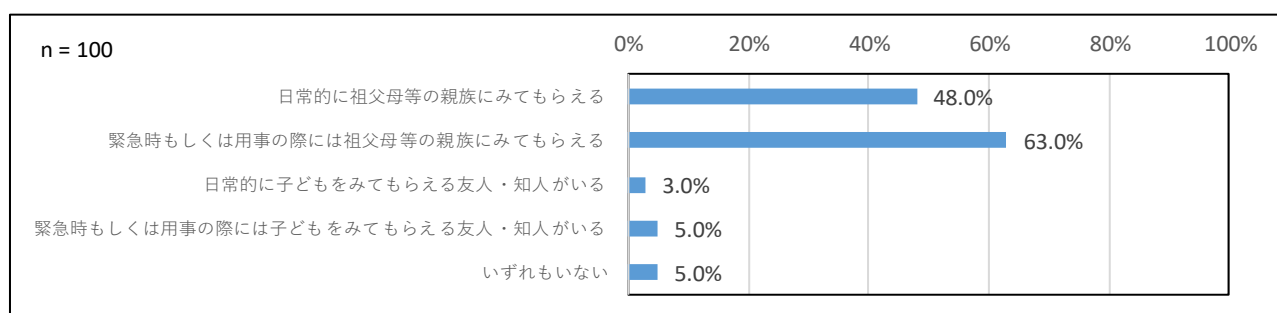
選択肢	人数	割合
1 家庭	66	66.0%
2 地域	1	1.0%
3 保育所	31	31.0%
4 認定こども園	0	0.0%
5 その他	1	1.0%
無回答・不明	1	1.0%
合計	100	100%



もっとも影響を与えると思う環境は、「家庭」が66.0%で最も高く、次いで「保育所」が31.0%となっています。

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか？（あてはまる番号すべてに○）

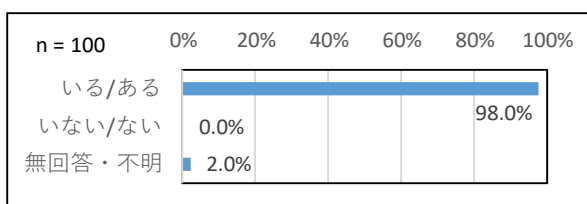
選択肢	人数	割合
1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	48	48.0%
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	63	63.0%
3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	3	3.0%
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	5	5.0%
5 いずれもない	5	5.0%
合計	124	124%



子どもをみてもらえるは親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.0%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が48.0%となっています。

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか？
また、相談できる場所はありますか？（あてはまる番号1つに○）

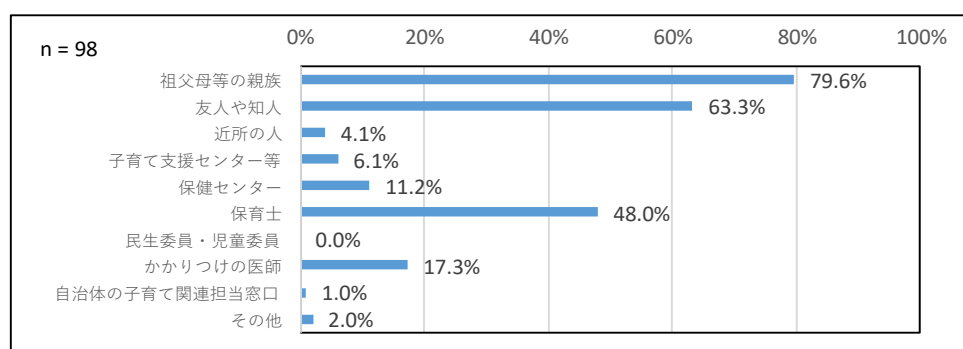
選択肢	人数	割合
1 いる/ある	98	98.0%
2 いない/ない	0	0.0%
無回答・不明	2	2.0%
合計	100	100%



子育てについて、気軽に相談できる人の有無は、「いる/ある」が98.0%となっています。

問9-1 問9で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか？（あてはまる番号すべてに○）

選択肢	人数	割合
1 祖父母等の親族	78	79.6%
2 友人や知人	62	63.3%
3 近所の人	4	4.1%
4 子育て支援センター等	6	6.1%
5 保健センター	11	11.2%
6 保育士	47	48.0%
7 民生委員・児童委員	0	0.0%
8 かかりつけの医師	17	17.3%
9 自治体の子育て関連担当窓口	1	1.0%
10 その他	2	2.0%
合計	228	232.7%



子育てについて、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族」が79.6%で最も高く、次いで「友人や知人」が63.3%、「保育士」が48.0%、「かかりつけの医師」が17.3%となっています。

問10 子育て（教育）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

（主な意見）

- ・子育ての相談ができる場が増えるといい
- ・子育てに関する必要な情報、知りたい情報を知れるようなサポート（仕組み）があればいい

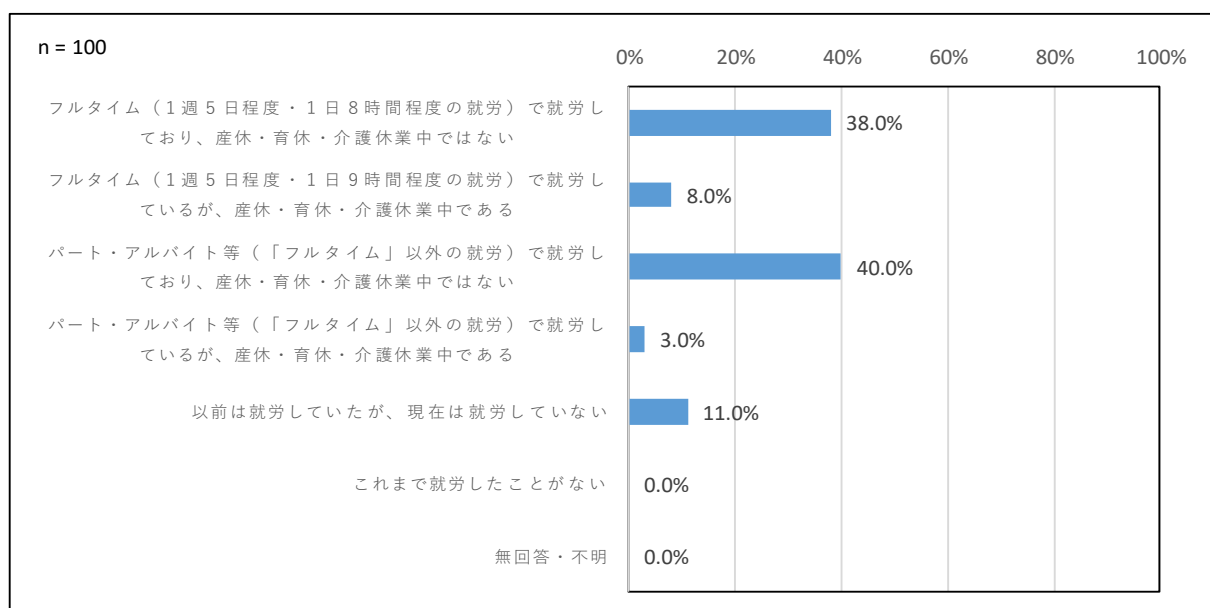
○子育ての相談を気軽にできる体制の整備を望む声がみられました

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親（あてはまる番号1つに○） ※父子家庭の場合は記入不要です。

選択肢		人数	割合
1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	38	38.0%
2	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	8.0%
3	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	40	40.0%
4	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	3.0%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	11	11.0%
6	これまで就労したことがない	0	0.0%
	無回答・不明	0	0.0%
合計		100	100%



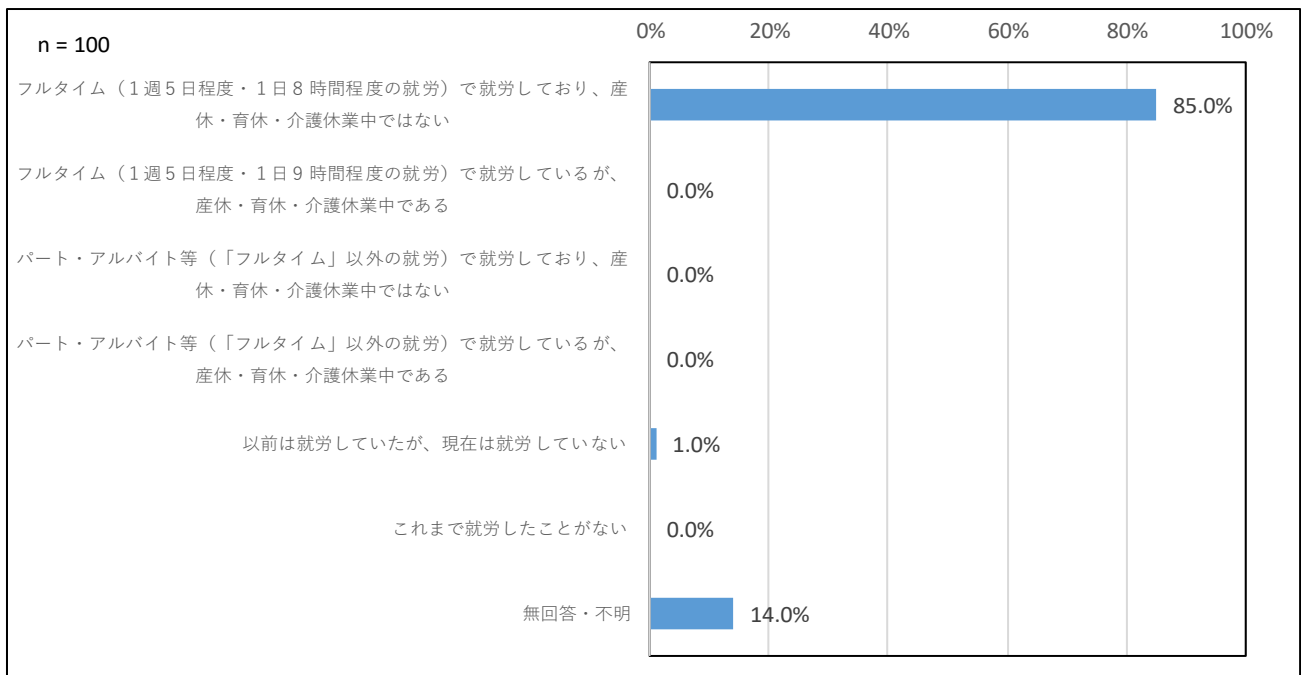
母親の就労状況は、「パート・アルバイト（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.0%、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が38.0%となっています。

また、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人（選択肢1～4）の

- 1週あたりの平均就労日数は5.05日（最小値：1日、最大値：6日）
- 1日あたりの就労時間の平均は7.2時間（最小値：2時間、最大値：15時間）
- 家を出る時刻の平均は8時02分（最小値：6時、最大値：15時）
- 帰宅時刻の平均は17時08分（最小値：13時、最大値：22時）

(2) 父親（あてはまる番号1つに○） ※母子家庭の場合は記入不要です。

選択肢		人数	割合
1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	85	85.0%
2	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
3	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	0	0.0%
4	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	1	1.0%
6	これまで就労したことがない	0	0.0%
	無回答・不明	14	14.0%
合計		100	100%



父親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が85.0%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.0%となっています。

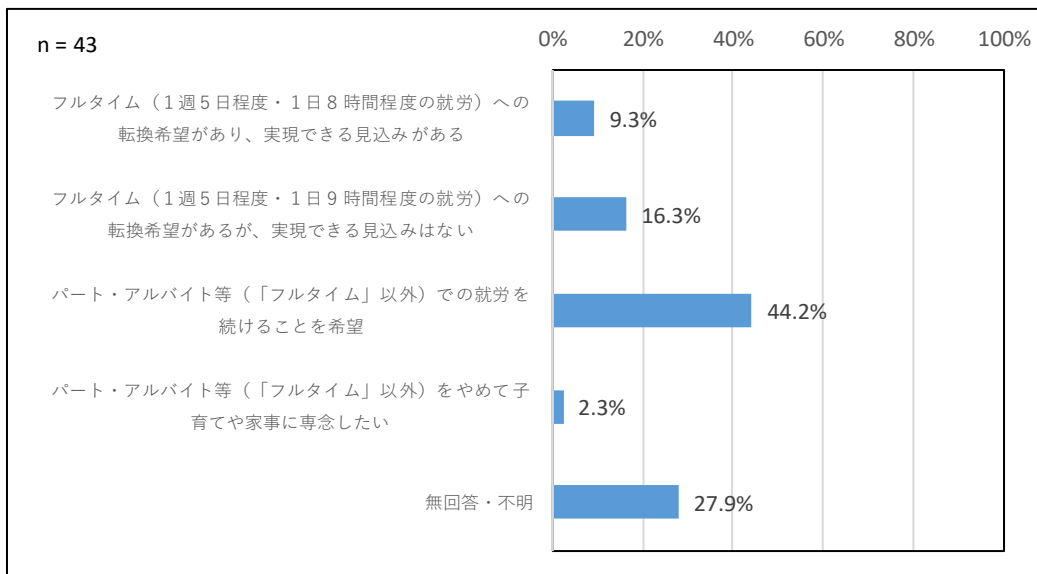
また、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人（選択肢1～4）の

- 1週あたりの平均就労日数は5.58日（最小値：3日、最大値：7日）
- 1日あたりの就労時間の平均は9.79時間（最小値：8時間、最大値：24時間）
- 家を出る時刻の平均は7時2分（最小値：2時、最大値：11時）
- 帰宅時刻の平均は18時26分（最小値：12時、最大値：23時）

問12 問11の(1)または(2)で「3.~4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまつ番号1つに○)

(1) 母親

選択肢		人数	割合
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	4	9.3%
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない	7	16.3%
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を続けることを希望	19	44.2%
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	1	2.3%
	無回答・不明	12	27.9%
合計		43	100%



母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を続けることを希望」が44.2%、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない」が16.3%となっています。

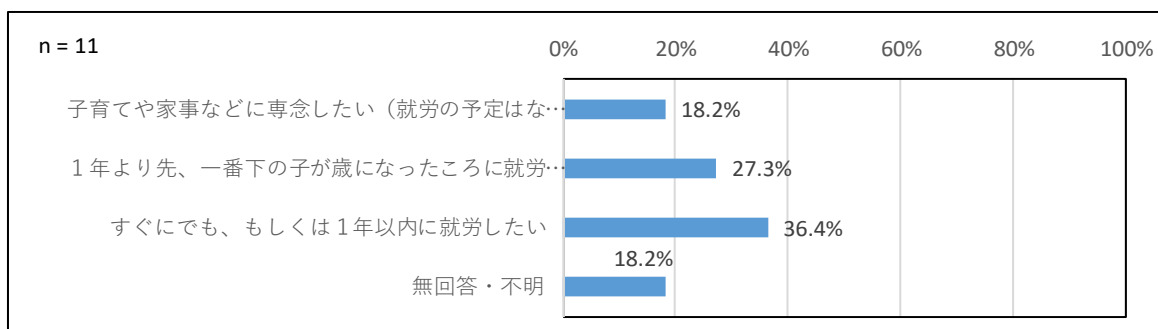
(2) 父親

該当者はいませんでした。

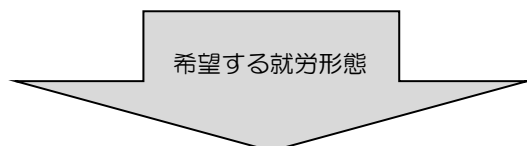
問13 問11の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。
(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○) ※該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

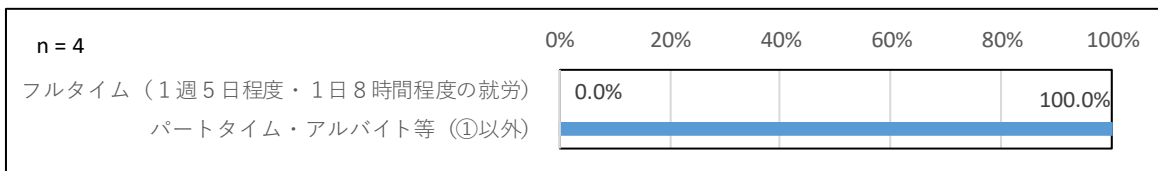
選択肢		人数	割合
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	2	18.2%
2	1年より先、一番下の子が〇〇歳になったところに就労したい	3	27.3%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4	36.4%
	無回答・不明	2	18.2%
合計		11	100%



現在就労していない母親の今後の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.4%、次いで「1年より先、一番下の子が〇〇歳になったところに就労したい」が27.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が18.2%となっています。



選択肢		人数	割合
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	0	0.0%
2	パートタイム・アルバイト等(①以外)	4	100.0%
合計		4	100%



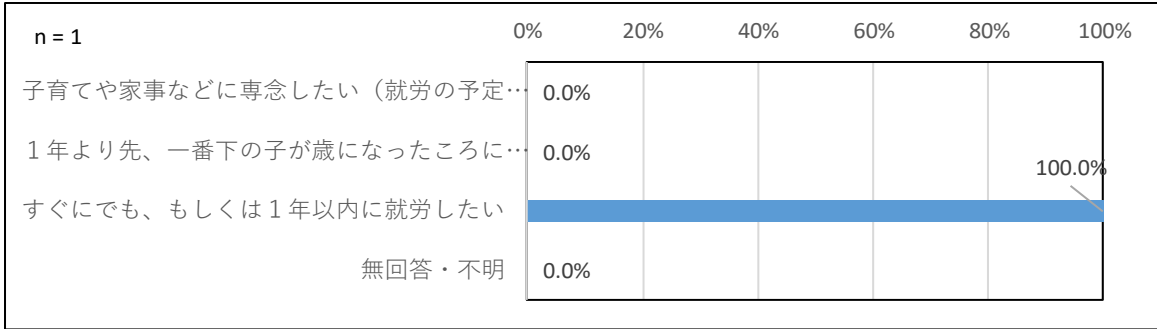
問13(1)で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ人のうち、母親の希望する勤務形態では、「パート・アルバイト等」が4人(100%)となっています。

また就労希望の人の

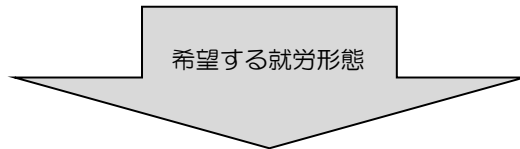
- 1週あたりの希望就労日数は4.25日(最小値:3日、最大値:5日)
- 1日あたりの希望就労時間の平均は5.25時間(最小値:4時間、最大値:6時間)

(2) 父親

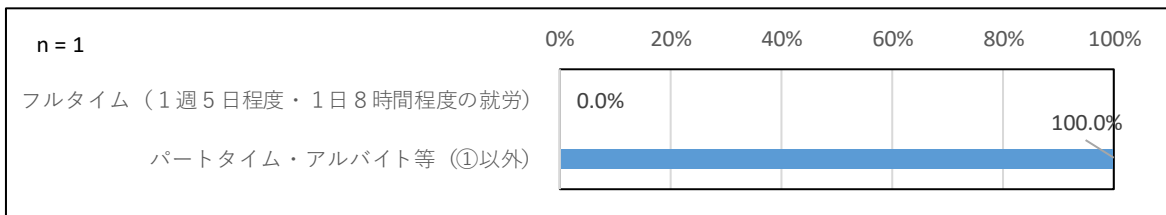
選択肢		人数	割合
1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	0	0.0%
2	1年より先、一番下の子が〇〇歳になったところに就労したい	0	0.0%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	100.0%
	無回答・不明	0	0.0%
合計		1	100%



現在就労していない父親の今後の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1人（100%）となっています。



選択肢		人数	割合
1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	0	0.0%
2	パートタイム・アルバイト等（①以外）	1	100.0%
合計		1	100%



問13（2）で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ人のうち、父親の希望する勤務形態では、「パート・アルバイト等」が1人（100%）となっています。

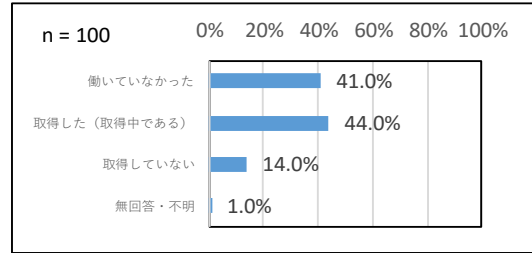
また就労希望の人の

- 1週あたりの希望就労日数は5日（最小値：5日、最大値：5日）
- 1日あたりの希望就労時間の平均は8時間（最小値：8時間、最大値：8時間）

問14 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 (母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)
 ※取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

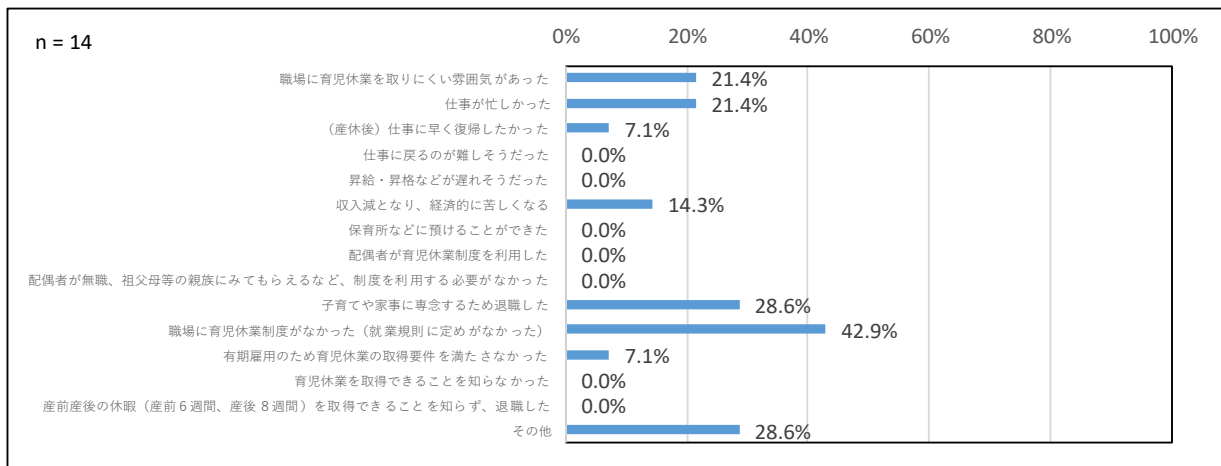
選択肢	人数	割合
1 働いていなかった	41	41.0%
2 取得した(取得中である)	44	44.0%
3 取得していない	14	14.0%
無回答・不明	1	1.0%
合計	100	100%



母親の育児休業の取得については、「取得した(取得中である)」が44.0%と最も高く、次いで「働いていなかった」が41.0%となっています。

取得していない理由

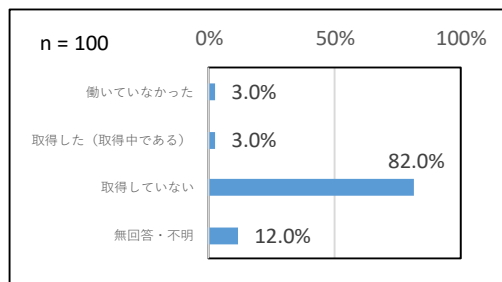
選択肢	人数	割合
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	3	21.4%
2 仕事が忙しかった	3	21.4%
3 (産休後) 仕事に早く復帰したかった	1	7.1%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	2	14.3%
7 保育所などに預けることができた	0	0.0%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	0	0.0%
10 子育てや家事に専念するため退職した	4	28.6%
11 職場に育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	6	42.9%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1	7.1%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0%
14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%
15 その他	4	28.6%
合計	24	171%



母親の育児休業を取得していない理由については、「職場に育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が42.9%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が28.6%となっています。

(2) 父親

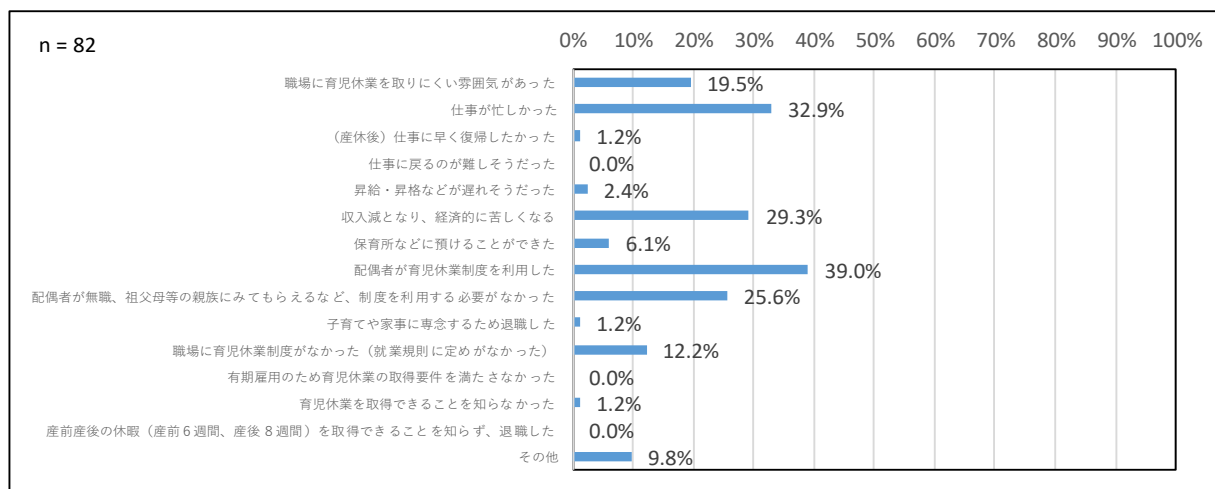
選択肢	人数	割合
1 働いていなかった	3	3.0%
2 取得した（取得中である）	3	3.0%
3 取得していない	82	82.0%
無回答・不明	12	12.0%
合計	100	100%



父親の育児休業の取得については、「取得していない」が82.0%と最も高く、次いで「働いていなかった」と「取得した（取得中である）」が3.0%となっています。

取得していない理由

選択肢	人数	割合
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	16	19.5%
2 仕事が忙しかった	27	32.9%
3 (産休後) 仕事に早く復帰したかった	1	1.2%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	2	2.4%
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	24	29.3%
7 保育所などに預けることができた	5	6.1%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	32	39.0%
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	21	25.6%
10 子育てや家事に専念するため退職した	1	1.2%
11 職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	10	12.2%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	0	0.0%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	1	1.2%
14 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%
15 その他	8	9.8%
合計	148	180%

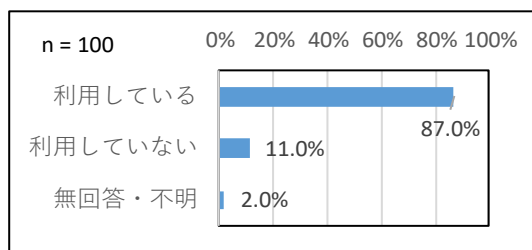


父親の育児休業を取得していない理由については、「配偶者が育児休業制度を利用した」が39.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が32.9%となっています。

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてうかがいます。

問15 宛名のお子さんは現在、保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。
(あてはまる番号1つに○)

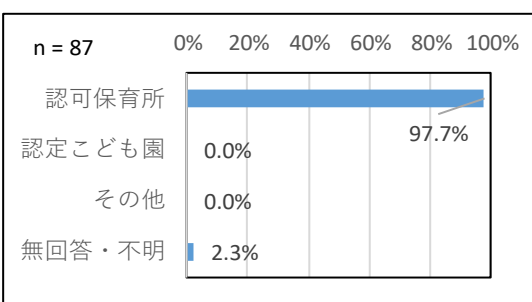
選択肢		人数	割合
1	利用している	87	87.0%
2	利用していない	11	11.0%
	無回答・不明	2	2.0%
合計		100	100%



平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無については、「利用している」が87.0%、「利用していない」が11.0%となっています。

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは平日どのような教育・保育事業を利用していますか。
※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

選択肢		人数	割合
1	認可保育所	85	97.7%
2	認定こども園	0	0.0%
3	その他	0	0.0%
	無回答・不明	2	2.3%
合計		87	100%



平日の定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が97.7%となっています

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
※1週あたり何日程度、1日あたり何時間程度(何時台から何時台まで)かを、口内に数字
でご記入ください。

(現在)

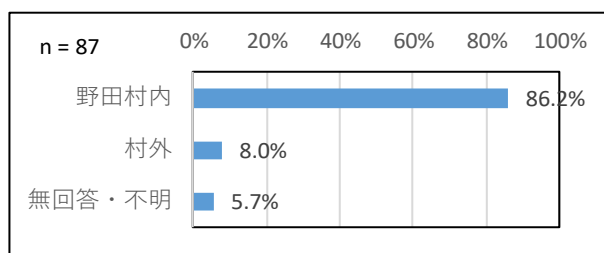
- 1週あたりの利用日数の平均は5.15日(最小値:4日、最大値:6日)
- 1日あたりの利用時間の平均は8.39時間(最小値:6時間、最大値:10時間)
利用時間帯の平均は8時00分台～16時40分台

(希望)

- 1週あたりの希望利用日数の平均は5.19日(最小値:4日、最大値:6日)
- 1日あたりの希望利用時間の平均は8.69時間(最小値:6時間、最大値:12時間)
希望利用時間帯の平均は8時00分台～16時50分台

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。
(あてはまる番号1つに○)

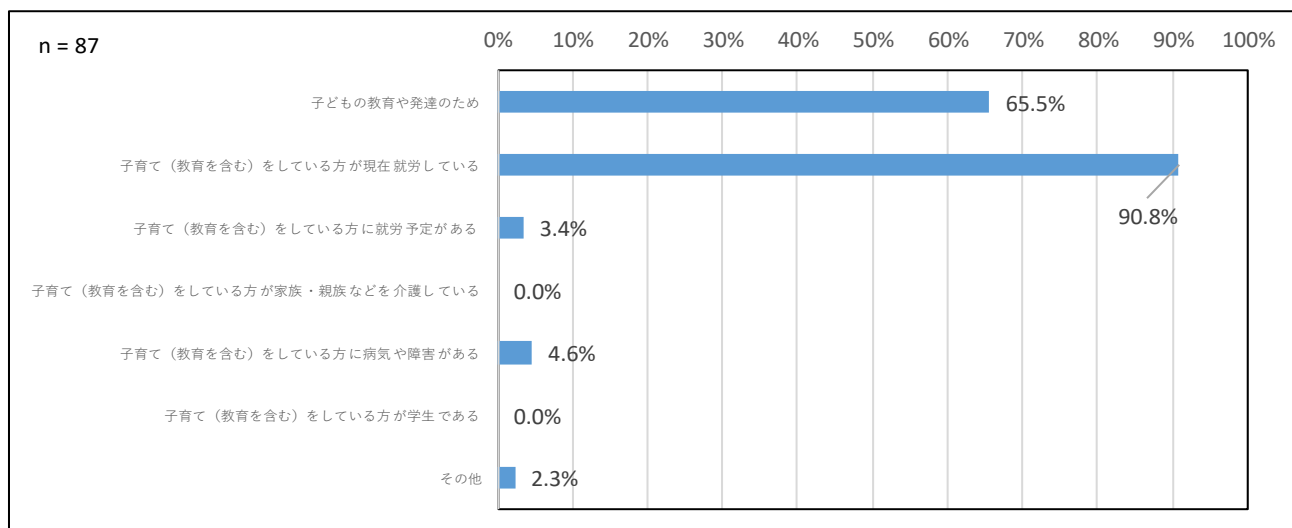
選択肢		人数	割合
1	野田村内	75	86.2%
2	村外	7	8.0%
	無回答・不明	5	5.7%
	合計	87	100%



現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「野田村内」が86.2%、「村外」が8.0%となっています。

問15-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

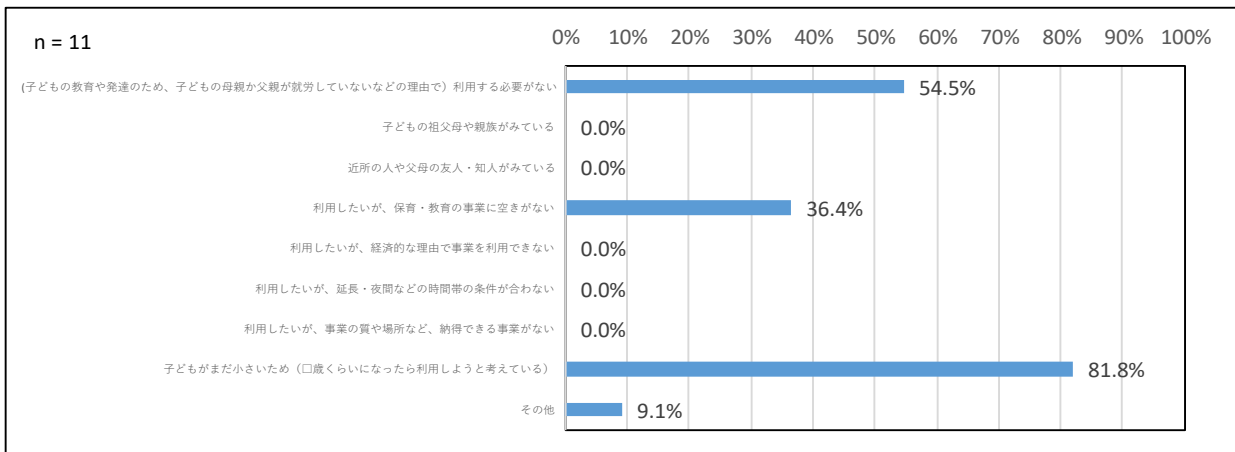
選択肢		人数	割合
1	子どもの教育や発達のため	57	65.5%
2	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	79	90.8%
3	子育て（教育を含む）をしている方に就労予定がある	3	3.4%
4	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	0	0.0%
5	子育て（教育を含む）をしている方に病気や障害がある	4	4.6%
6	子育て（教育を含む）をしている方が学生である	0	0.0%
7	その他	2	2.3%
	合計	145	167%



平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が90.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が65.5%となっています。

問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 利用していない理由はなんですか。（あてはまる番号すべてに○）
 ※「8.」に○をつけた場合は、年齢を口内に数字でご記入ください。

選択肢		人数	割合
1	(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	6	54.5%
2	子どもの祖父母や親族がみている	0	0.0%
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
4	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	4	36.4%
5	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	0	0.0%
6	利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない	0	0.0%
7	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	0	0.0%
8	子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）	9	81.8%
9	その他	1	9.1%
合計		20	182%

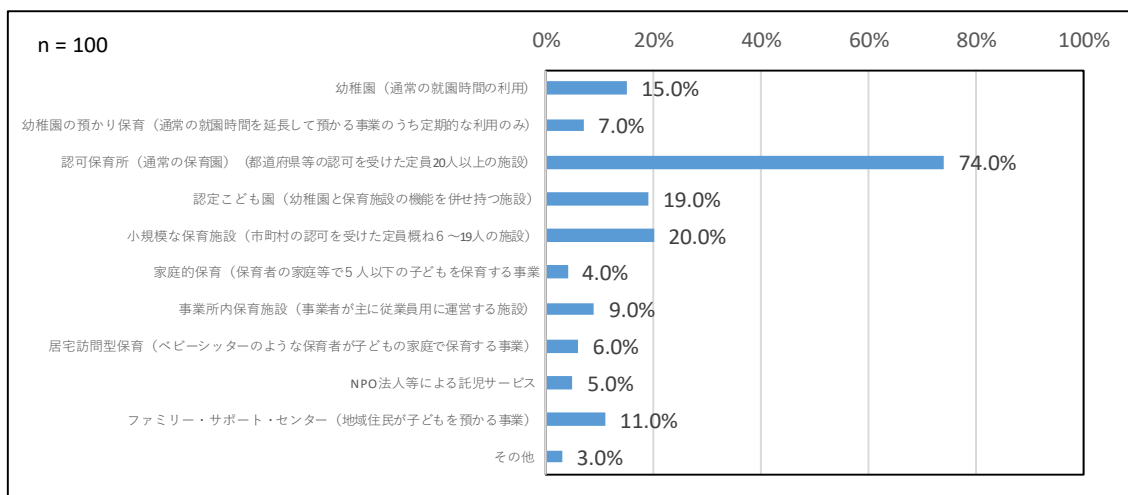


平日に定期的に教育・保育事業を利用していない人の利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が81.8%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が54.5%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が36.4%となっています。

また、選択肢8「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した人の内訳は、「1歳」が71.4%、「3歳」が28.6%となっています。

問16 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。
(あてはまる番号すべてに○)

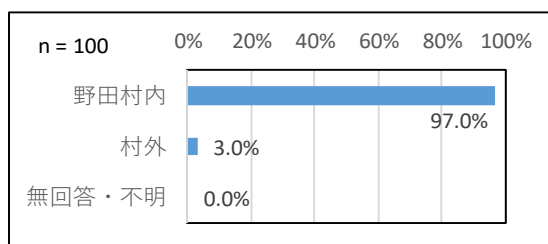
選択肢		人数	割合
1	幼稚園（通常の就園時間の利用）	15	15.0%
2	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	7	7.0%
3	認可保育所（通常の保育園）（都道府県等の認可を受けた定員20人以上の施設）	74	74.0%
4	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	19	19.0%
5	小規模な保育施設（市町村の認可を受けた定員概ね6～19人の施設）	20	20.0%
6	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	4	4.0%
7	事業所内保育施設（事業者が主に従業員用に運営する施設）	9	9.0%
8	居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	6	6.0%
9	NPO法人等による託児サービス	5	5.0%
10	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	11	11.0%
11	その他	3	3.0%
合計		173	173%



今後定期的に利用したい教育・保育事業は、「認可保育所（通常の保育園）」が74.0%と最も高く、次いで「小規模な保育施設」が20.0%となっています。

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。
(あてはまる番号1つに○)

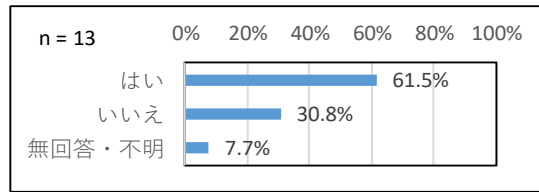
選択肢		人数	割合
1	野田村内	97	97.0%
2	村外	3	3.0%
	無回答・不明	0	0.0%
合計		100	100%



教育・保育事業を利用したい場所については、「野田村内」が97.0%と大部分を占めています。

問16-2 問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3~12」にも○をつけた方うかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

選択肢	人数	割合
1 はい	8	61.5%
2 いいえ	4	30.8%
無回答・不明	1	7.7%
合計	13	100%

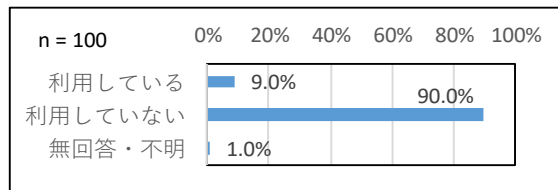


幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が61.5%で最も多く、次いで「いいえ」が30.8%となっています。

宛名のお子さんの子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがいます。

問17 宛名のおさんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）
※おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

選択肢	人数	割合
1 利用している	9	9.0%
2 利用していない	90	90.0%
無回答・不明	1	1.0%
合計	100	100%



地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「利用していない」が90.0%で大部分を占め、「利用している」は9.0%となっています。

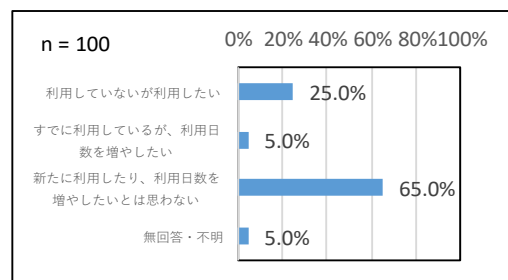
また、「利用している」と回答した人の

- 1週あたりの平均利用回数は1.5回（最小値：1回、最大値：2回）
- 1ヶ月あたりの平均利用時回数平均は2回（最小値：1回、最大値：5回）

となっています。

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号1つに○）
※おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

選択肢	人数	割合
1 利用していないが利用したい	25	25.0%
2 すでに利用しているが、利用日数を増やしたい	5	5.0%
3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	65	65.0%
無回答・不明	5	5.0%
合計	100	100%



地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が65.0%、「利用していないが、利用したい」は25.0%となっています。

また、「利用していないが、利用したい」と回答した人の

- 1週あたりの平均利用回数は1.55回（最小値：1回、最大値：3回）
- 1ヶ月あたりの平均利用時回数平均は1.73回（最小値：1回、最大値：4回）

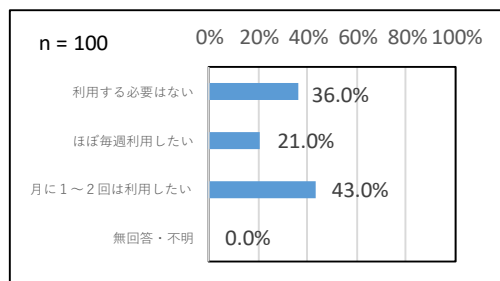
となっています。

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の
「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。
（(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

(1) 土曜日

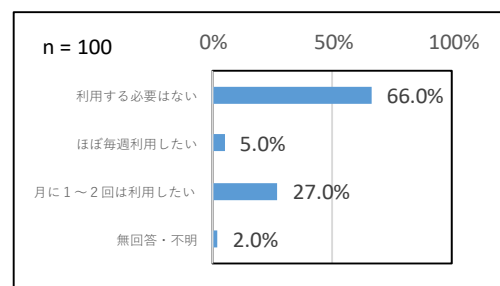
選択肢	人数	割合
1 利用する必要はない	36	36.0%
2 ほぼ毎週利用したい	21	21.0%
3 月に1～2回は利用したい	43	43.0%
無回答・不明	0	0.0%
合計	100	100%



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「月に1～2回は利用したい」が43.0%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が36.0%、「ほぼ毎週利用したい」が21.0%となっています。

(2) 日曜・祝日

選択肢	人数	割合
1 利用する必要はない	66	66.0%
2 ほぼ毎週利用したい	5	5.0%
3 月に1～2回は利用したい	27	27.0%
無回答・不明	2	2.0%
合計	100	100%

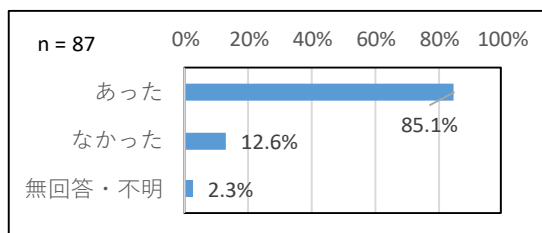


日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が66.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が27.0%、「ほぼ毎週利用したい」が5.0%となっています。

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
（平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ）**

問20 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

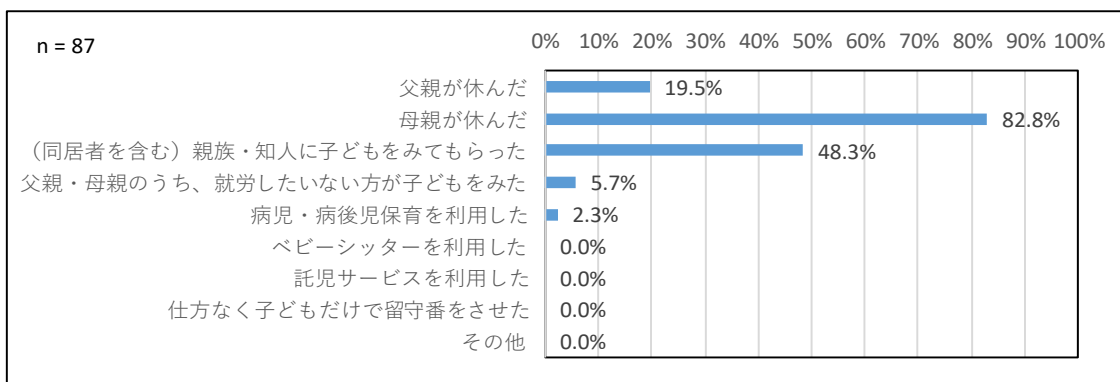
選択肢	人数	割合
1 あった	74	85.1%
2 なかった	11	12.6%
無回答・不明	2	2.3%
合計	87	100%



この1年間に、子どもが病気やけがで平日の教育・保育事業を休まなければならなかったことは、「あった」が85.1%、「なかった」が12.6%となっています。

問20-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。（あてはまる番号すべてに○）

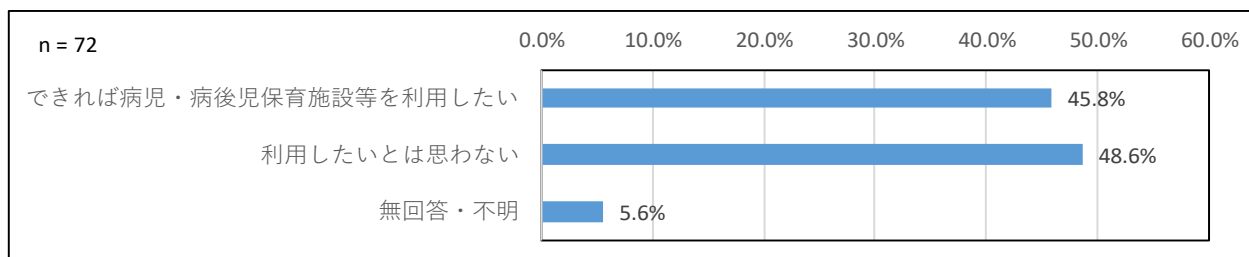
選択肢		人数	割合
1	父親が休んだ	17	19.5%
2	母親が休んだ	72	82.8%
3	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	42	48.3%
4	父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	5	5.7%
5	病児・病後児保育を利用した	2	2.3%
6	ベビーシッターを利用した	0	0.0%
7	託児サービスを利用した	0	0.0%
8	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
9	その他	0	0.0%
合計		138	159%



普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が82.8%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が48.3%、「父親が休んだ」が19.5%となっています。

問20-2 問20-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（あてはまる番号1つに○）

選択肢		人数	割合
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	33	45.8%
2	利用したいとは思わない	35	48.6%
	無回答・不明	4	5.6%
合計		72	100%

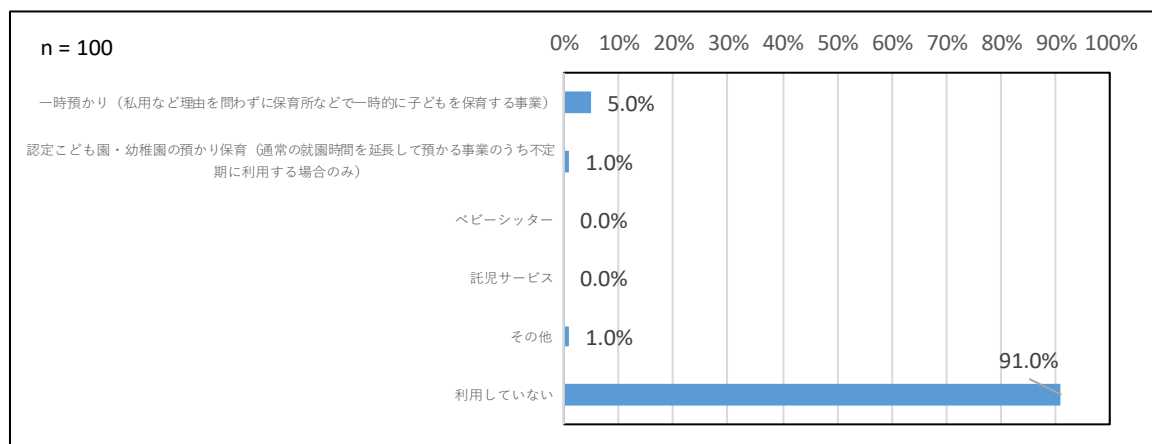


病児・病後児保育施設等の利用希望について、「利用したいとは思わない」が48.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が45.8%となっています。

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や 宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

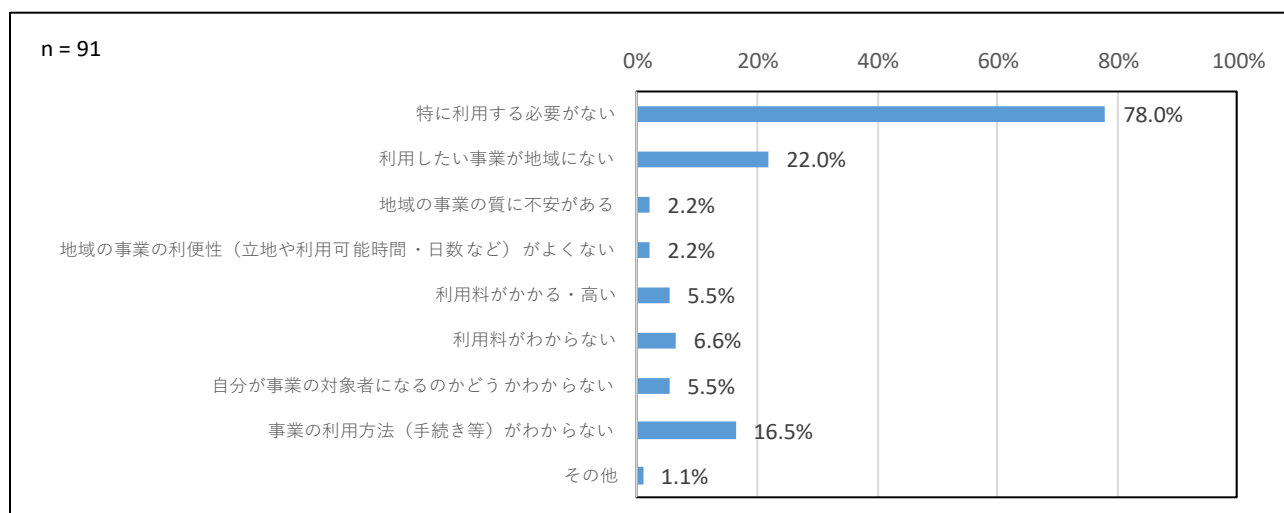
選択肢		人数	割合
1	一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	5	5.0%
2	認定こども園・幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	1	1.0%
3	ベビーシッター	0	0.0%
4	託児サービス	0	0.0%
5	その他	1	1.0%
6	利用していない	91	91.0%
合計		98	98%



私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が91.0%と最も高く、次いで「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が5.0%となっています。

問21-1 問21で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由はなんですか。（あてはまる番号すべてに○）

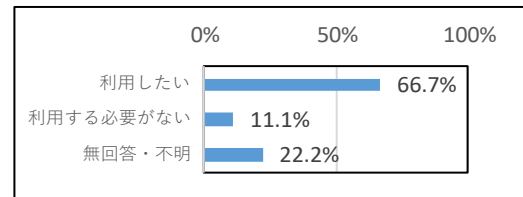
選択肢		人数	割合
1	特に利用する必要がない	71	78.0%
2	利用したい事業が地域にない	20	22.0%
3	地域の事業の質に不安がある	2	2.2%
4	地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	2	2.2%
5	利用料がかかる・高い	5	5.5%
6	利用料がわからない	6	6.6%
7	自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	5	5.5%
8	事業の利用方法（手続き等）がわからない	15	16.5%
9	その他	1	1.1%
合計		127	140%



不定期の教育・保育事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が78.0%と最も高く、次いで「利用したい事業が地域にない」が22.0%となっています。

問22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、問21に示した事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無をお答えください。
(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

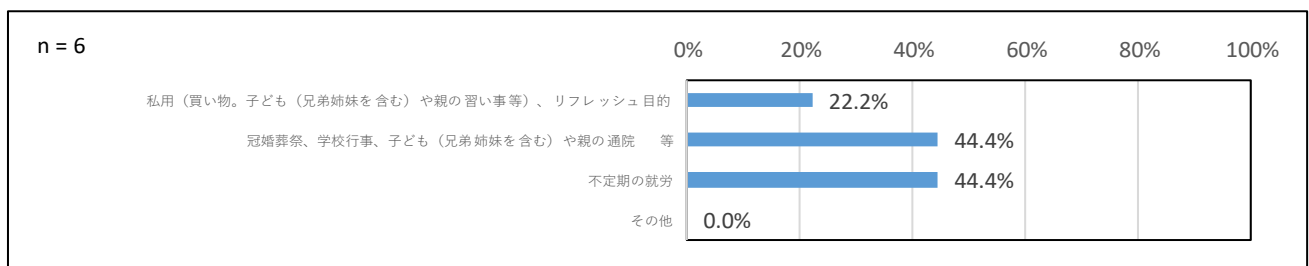
選択肢		人数	割合
1	利用したい	6	66.7%
2	利用する必要がない	1	11.1%
	無回答・不明	2	22.2%
	合計	9	100%



不特定の教育・保育事業の今後の利用希望については、「利用したい」が66.7%、「利用する必要がない」が11.1%となっています。

利用したい目的

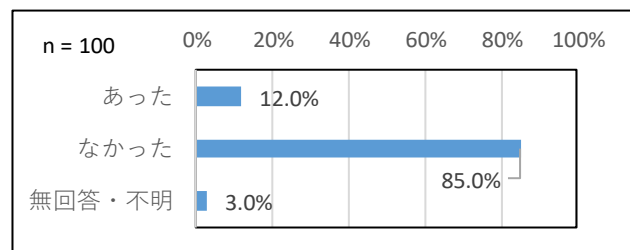
選択肢		人数	割合
1	私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	2	22.2%
2	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	4	44.4%
3	不特定の就労	4	44.4%
4	その他	0	0.0%
	合計	10	111%



不特定の教育・保育事業の利用したい目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」と「不特定の就労」が44.4%と最も高く、次いで「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が22.2%となっています。

問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）

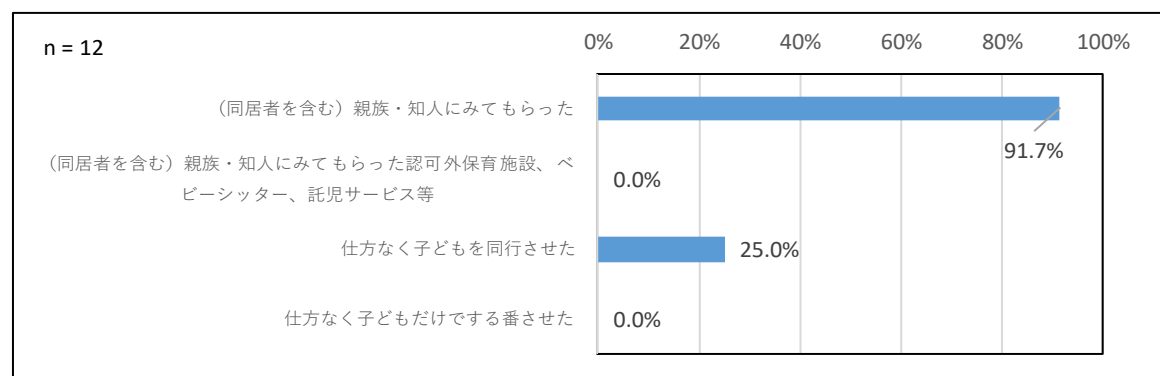
選択肢		人数	割合
1	あった	12	12.0%
2	なかった	85	85.0%
	無回答・不明	3	3.0%
	合計	100	100%



泊りがけで家族以外にみてもらったことの有無については、「あった」が12.0%、「なかった」が85.0%となっています。

あった場合

選択肢		人数	割合
1	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	11	91.7%
2	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった認可外保育施設、ベビーシッター、託児サービス等	0	0.0%
3	仕方なく子どもを同行させた	3	25.0%
4	仕方なく子どもだけにする番させた	0	0.0%
合計		14	117%

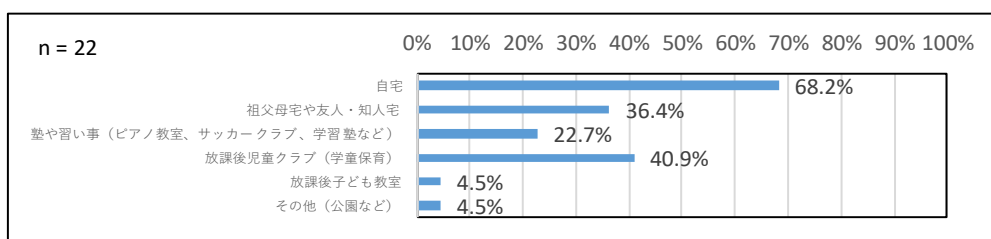


泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった場合の対処法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が91.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が25.0%となっています。

宛名のお子さんが5歳以上の方に、 放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

問24 宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生の）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

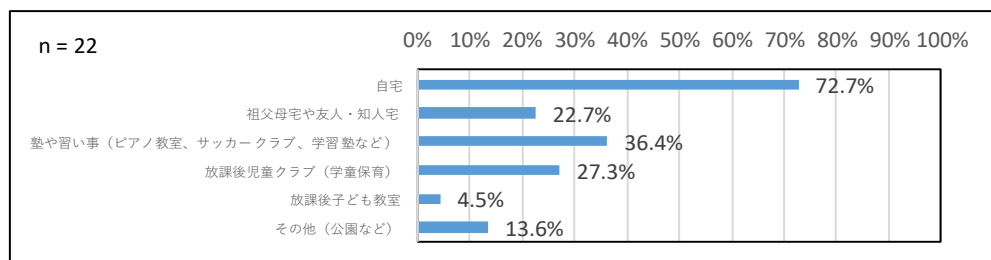
選択肢		人数	割合
1	自宅	15	68.2%
2	祖父母宅や友人・知人宅	8	36.4%
3	塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	5	22.7%
4	放課後児童クラブ（学童保育）	9	40.9%
5	放課後子ども教室	1	4.5%
6	その他（公園など）	1	4.5%
合計		39	177%



低学年のうちに放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が68.2%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が40.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が36.4%となっています。

問25 宛名のお子さんが小学校高学（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
※だいたいのこととなりますので、現在お持ちのイメージでお答えください。

選択肢		人数	割合
1	自宅	16	72.7%
2	祖父母宅や友人・知人宅	5	22.7%
3	塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	8	36.4%
4	放課後児童クラブ（学童保育）	6	27.3%
5	放課後子ども教室	1	4.5%
6	その他（公園など）	3	13.6%
合計		39	177%

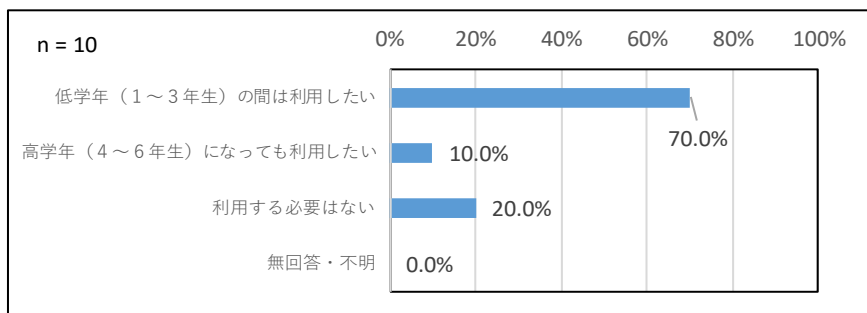


高学年のうちに放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が72.7%と最も高く、次いで「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が36.4%、「放課後児童クラブ（学童クラブ）」が27.3%となっています。

問26 問24または問25で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。（（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

（1）土曜日

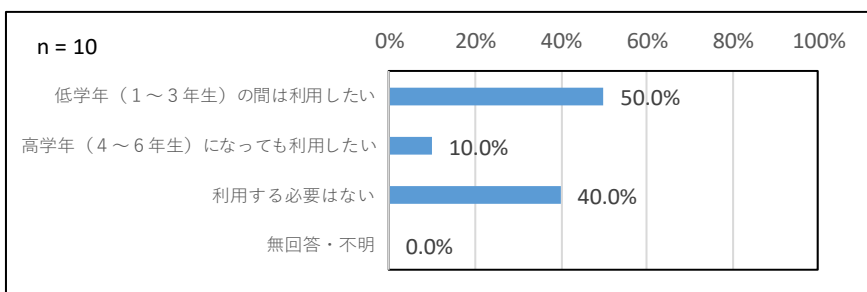
選択肢		人数	割合
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	7	70.0%
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	1	10.0%
3	利用する必要はない	2	20.0%
	無回答・不明	0	0.0%
合計		10	100%



土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が70.0%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が20.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.0%となっています。

（2）日曜・祝日

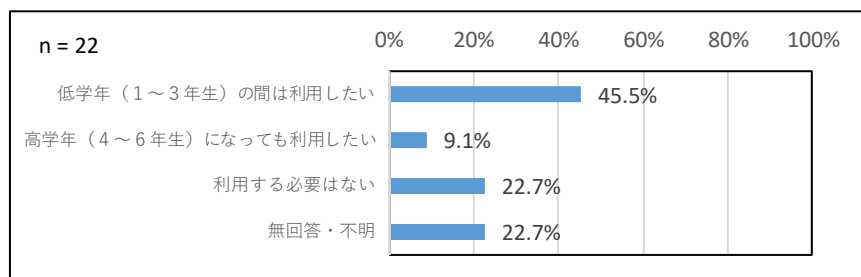
選択肢		人数	割合
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	5	50.0%
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	1	10.0%
3	利用する必要はない	4	40.0%
	無回答・不明	0	0.0%
合計		10	100%



日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が50.0%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が40.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.0%となっています。

問27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

選択肢		人数	割合
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	10	45.5%
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	2	9.1%
3	利用する必要はない	5	22.7%
	無回答・不明	5	22.7%
合計		22	100%

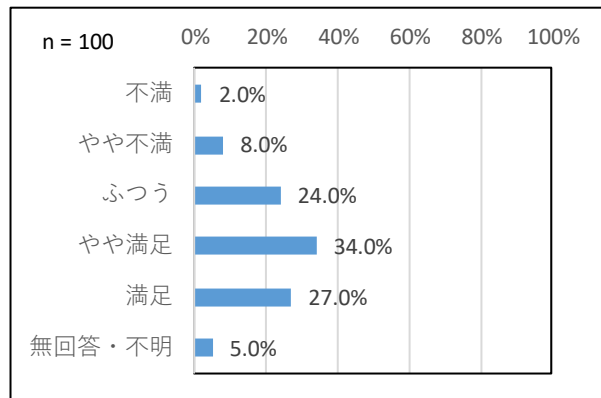


長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が45.5%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が22.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が9.1%となっています。

野田村の子育て環境や支援について

問28 野田村の子育て環境や支援への満足度をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

選択肢	人数	割合
1 不満	2	2.0%
2 やや不満	8	8.0%
3 ふつう	24	24.0%
4 やや満足	34	34.0%
5 満足	27	27.0%
無回答・不明	5	5.0%
合計	100	100%



野田村の子育て環境や支援への満足度は、「やや満足」が34.0%と最も多く、次いで「満足」が27.0%、「ふつう」が24.0%となっており、満足度が高いといえます。

満足度を5段階で表すと、平均満足度は 3.8 でした。

問29 最後に、野田村の子育て環境や支援に関して日頃感じていることや望んでいることなど、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

（主な意見）

- ・ 保育料や医療費が無料なので、経済的にとても助かっている。
 - ・ 他の市町村と比べても子育てしやすい環境だと思う。
 - ・ 仕事が休みの日や天気が悪い日、寒い時期等に、土日・祝日も使用できる屋内施設があればいい。
 - ・ 一時保育や病児保育等、子どもが病気の時や用事の際に預けられる場所等があれば助かる。
 - ・ いつでも気軽に遊べるように、子育て支援センターの開設時間を長くなればいい。
- また、開設日ももっと増えればいいと思う。

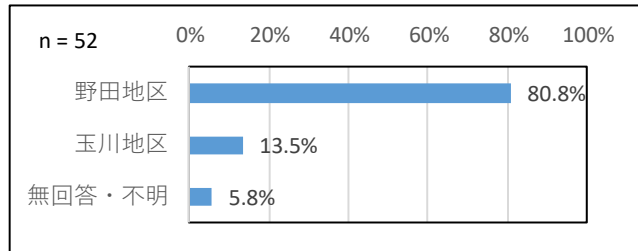
○経済的な支援については満足しているという意見が多い一方、子育てに関する施設や制度の充実を望む声が多くみられました。

Ⅲ 小学生調査

お住まいの地域について伺います。

問1 お住いの地区はどこですか。

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 野田地区	42	80.8%
2 玉川地区	7	13.5%
無回答・不明	3	5.8%
全体	52	100%

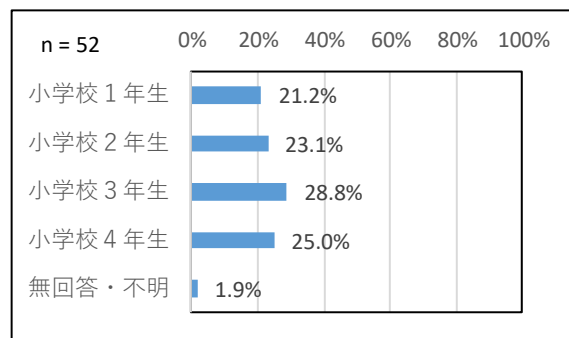


回答者の居住地区は「野田地区」が80.8%、玉川地区が13.5%となっています。

封筒の宛名のお子さんをご家庭の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。
(該当する年号に○をし、口内に数字でご記入ください)

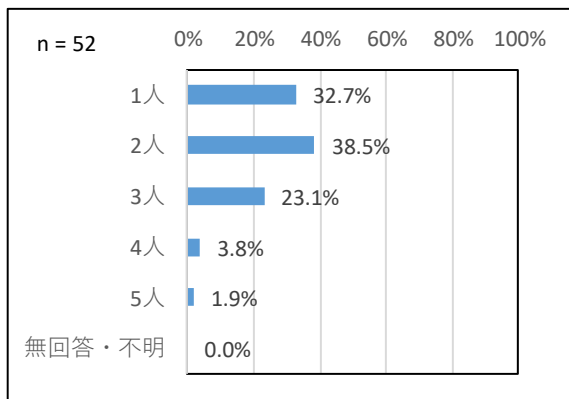
選択肢	人数	割合
1 小学校1年生	11	21.2%
2 小学校2年生	12	23.1%
3 小学校3年生	15	28.8%
4 小学校4年生	13	25.0%
無回答・不明	1	1.9%
合計	52	100%



子どもの学年は、「小学校3年生」が28.8%と最も多く、次いで「小学校4年生」が25.0%、「小学校2年生」が23.1%、「小学校1年生」が21.2%となっています。

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。
(宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください)

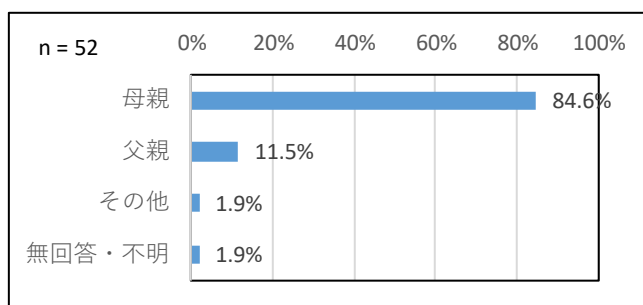
選択肢	人数	割合
1 1人	17	32.7%
2 2人	20	38.5%
3 3人	12	23.1%
4 4人	2	3.8%
5 5人	1	1.9%
無回答・不明	0	0.0%
合計	52	100%



子どもの数は、「2人」が38.5%と最も多く、次いで「1人」が32.7%、「3人」が23.1%、「4人」3.8%、「5人」が1.9%となっています。

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください（あてはまる番号1つに○）

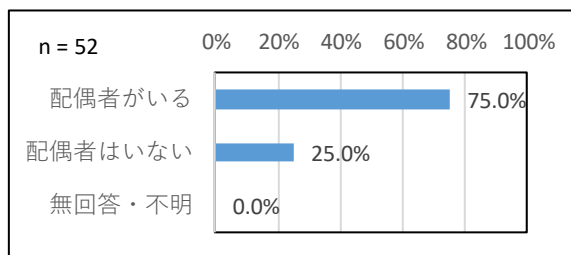
選択肢		人数	割合
1	母親	44	84.6%
2	父親	6	11.5%
3	その他	1	1.9%
	無回答・不明	1	1.9%
	合計	52	100%



この調査票に回答した人は、「母親が」84.6%、次いで「父親」が11.5%、その他が1.9%となっています。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
（あてはまる番号1つに○）

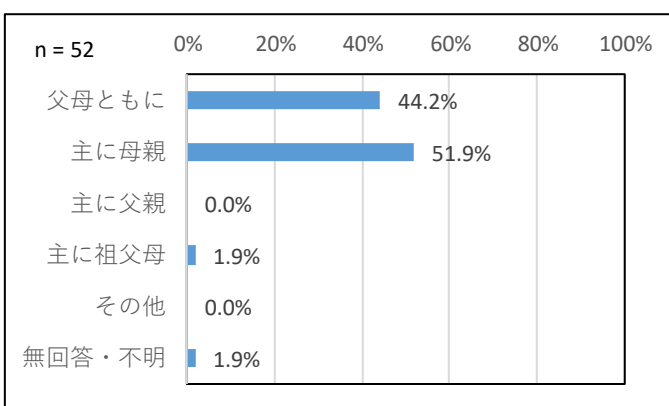
選択肢		人数	割合
1	配偶者がいる	39	75.0%
2	配偶者がいない	13	25.0%
	無回答・不明	0	0.0%
	合計	52	100%



回答者の配偶者については、「配偶者がいる」が75.0%、「配偶者がいない」が25%となっています。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか？
（あてはまる番号1つに○）

選択肢		人数	割合
1	父母ともに	23	44.2%
2	主に母親	27	51.9%
3	主に父親	0	0.0%
4	主に祖父母	1	1.9%
5	その他	0	0.0%
	無回答・不明	1	1.9%
	合計	52	100%



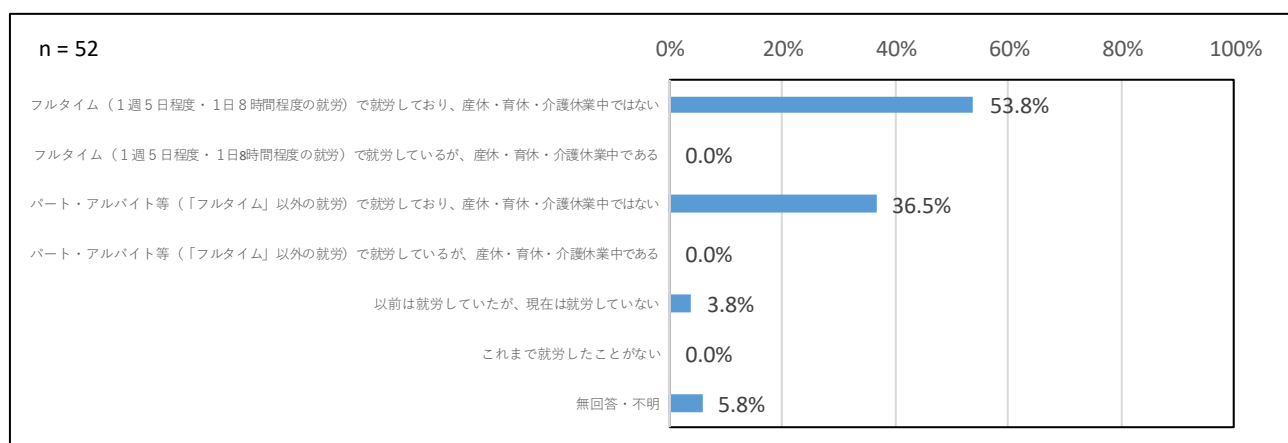
子育てを主に行っているのは、「主に母親」が51.9%で最も高く、次いで「父母ともに」が44.2%となっています。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
（あてはまる番号1つに○）

（1）母親

選択肢		人数	割合
1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	28	53.8%
2	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
3	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	19	36.5%
4	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	2	3.8%
6	これまで就労したことがない	0	0.0%
	無回答・不明	3	5.8%
合計		52	100%



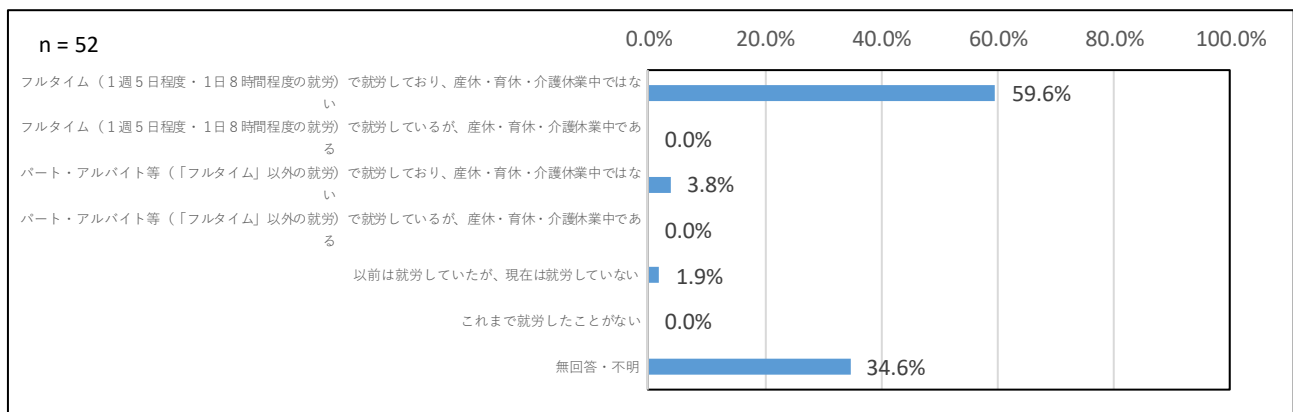
母親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が53.8%、次いで「パート・アルバイト（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が36.5%となっています。

また、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人（選択肢1～4）の

- 1週あたりの平均就労日数は4.87日（最小値：3日、最大値：6日）
- 1日あたりの就労時間の平均は7.04時間（最小値：3時間、最大値：13時間）
- 家を出る時刻の平均は7時56分（最小値：4時、最大値：15時）
- 帰宅時刻の平均は17時12分（最小値：12時、最大値：23時）

(2) 父親

選択肢		人数	割合
1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	31	59.6%
2	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
3	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2	3.8%
4	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	1	1.9%
6	これまで就労したことがない	0	0.0%
	無回答・不明	18	34.6%
合計		52	100%



父親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が59.6%、次いで「パート・アルバイト（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が3.8%となっています。

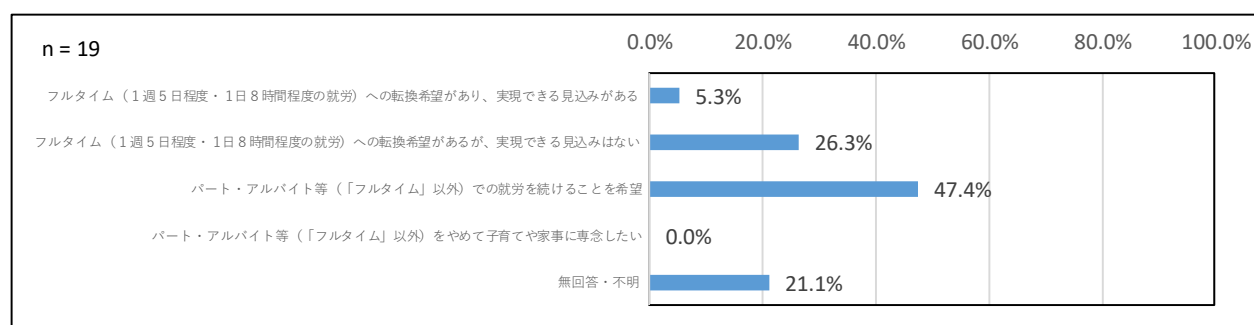
また、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人（選択肢1～4）の

- 1週あたりの平均就労日数は5.81日（最小値：5日、最大値：7日）
- 1日あたりの就労時間の平均は8.65時間（最小値：4時間、最大値：24時間）
- 家を出る時刻の平均は7時9分（最小値：2時、最大値：15時）
- 帰宅時刻の平均は18時11分（最小値：15時、最大値：21時）

問8 問7の(1)または(2)で「3.~4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。
(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

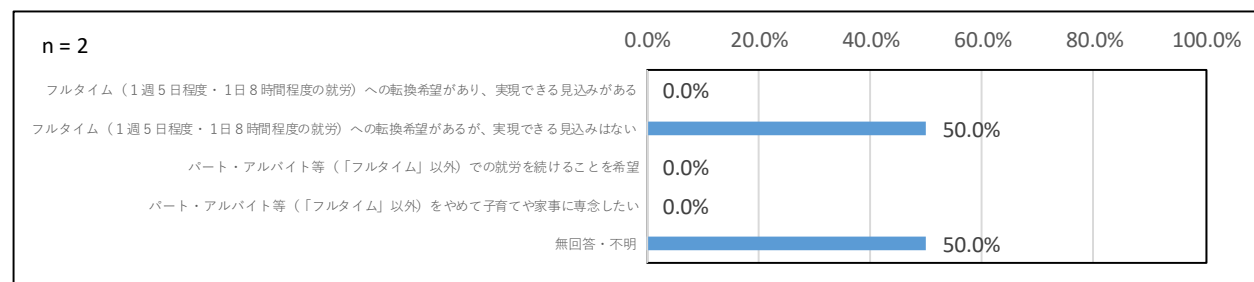
選択肢		人数	割合
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	5.3%
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない	5	26.3%
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を続けることを希望	9	47.4%
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答・不明		4	21.1%
合計		19	100%



母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を続けることを希望」が47.4%、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない」が26.3%となっています。

(2) 父親

選択肢		人数	割合
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない	1	50.0%
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を続けることを希望	0	0.0%
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答・不明		1	50.0%
合計		2	100%

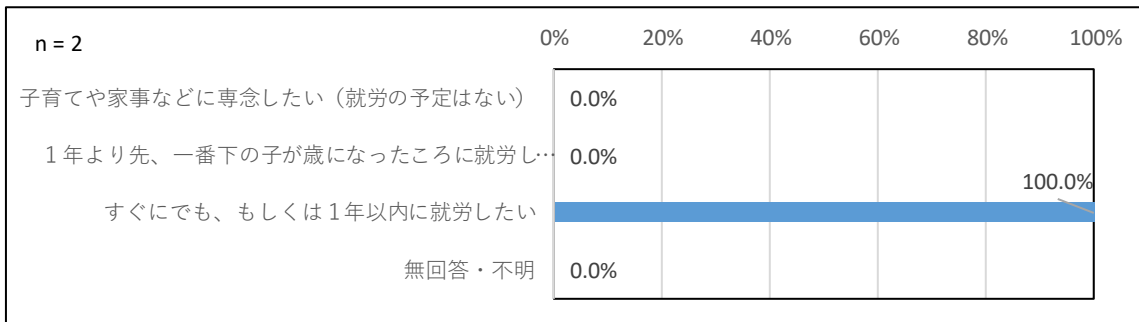


父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない」が50.0%となっています。

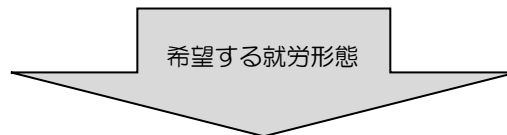
問9 問7の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○) ※該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

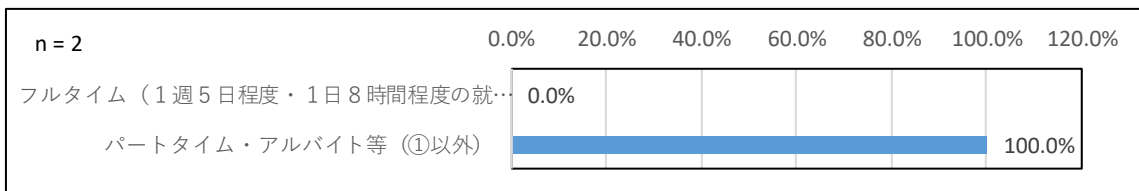
選択肢		人数	割合
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0%
2	1年より先、一番下の子が歳になったところに就労したい	0	0.0%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	2	100.0%
	無回答・不明	0	0.0%
合計		2	100%



現在就労していない母親の今後の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2人(100%)となっています。



選択肢		人数	割合
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	0	0.0%
2	パートタイム・アルバイト等(①以外)	2	100.0%
合計		2	100%



問9(1)で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ人のうち、母親の希望する勤務形態では、「パート・アルバイト等」が2人(100%)となっています。

また就労希望の人の

- 1週あたりの希望就労日数は5日(最小値:5日、最大値:5日)
- 1日あたりの希望就労時間の平均は5時間(最小値:5時間、最大値:5時間)

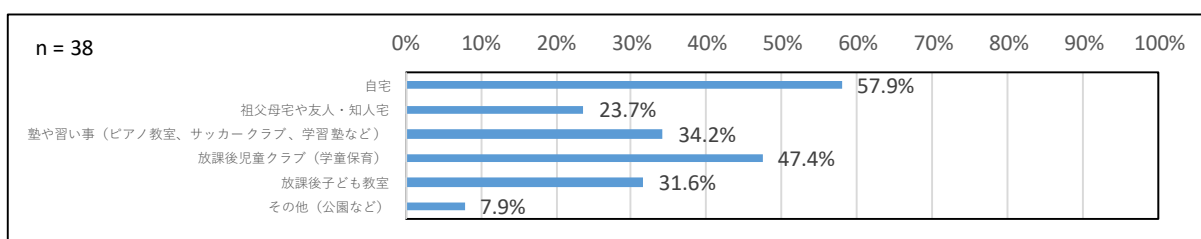
(2) 父親

該当者はいませんでした。

宛名のお子さんの放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

問10 宛名のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

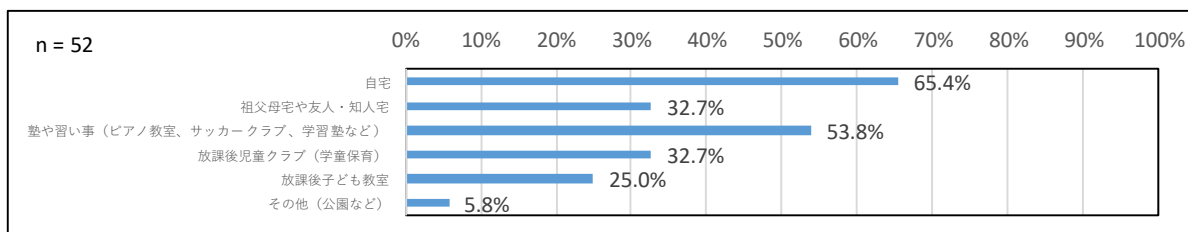
選択肢		人数	割合
1	自宅	22	57.9%
2	祖父母宅や友人・知人宅	9	23.7%
3	塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	13	34.2%
4	放課後児童クラブ（学童保育）	18	47.4%
5	放課後子ども教室	12	31.6%
6	その他（公園など）	3	7.9%
合計		77	203%



低学年のうちに放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が57.9%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童クラブ）」が47.4%、「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が34.2%となっています。

問11 すべての方（お子さんが小学校1～3年生の方を含む）に伺います。小学校4～6年生の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

選択肢		人数	割合
1	自宅	34	65.4%
2	祖父母宅や友人・知人宅	17	32.7%
3	塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	28	53.8%
4	放課後児童クラブ（学童保育）	17	32.7%
5	放課後子ども教室	13	25.0%
6	その他（公園など）	3	5.8%
合計		112	215%

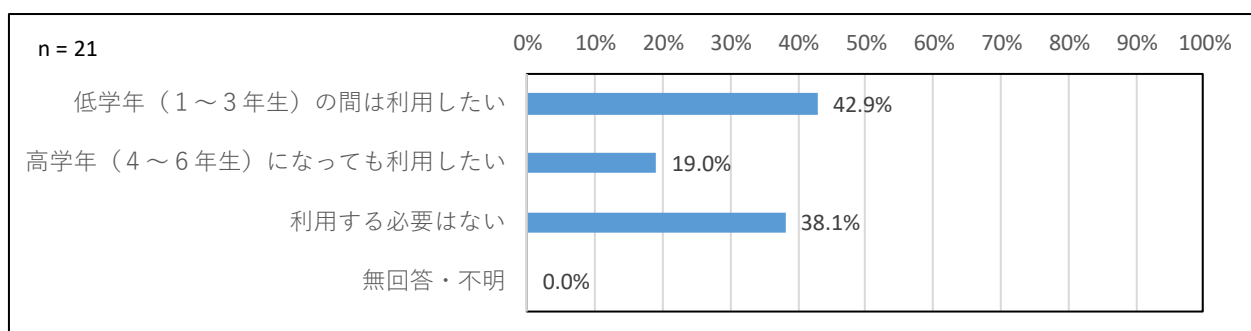


高学年のうちに放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が65.4%と最も高く、次いで「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が53.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」と「放課後児童クラブ（学童クラブ）」が32.7%となっています。

問12 問10または問11で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。
 （（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

（1）土曜日

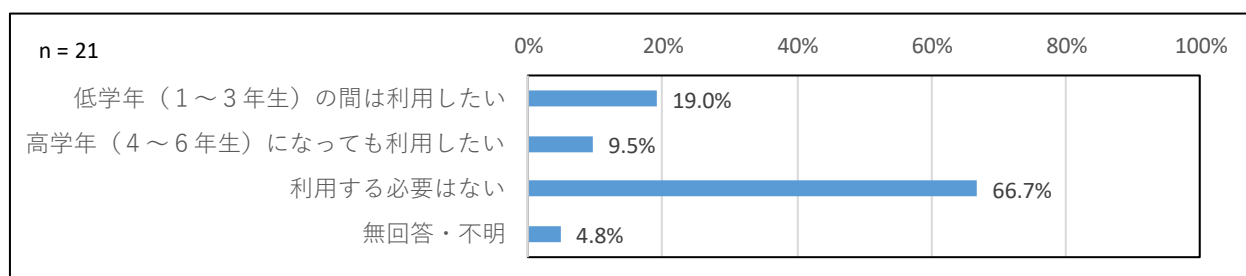
選択肢		人数	割合
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	9	42.9%
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	4	19.0%
3	利用する必要はない	8	38.1%
	無回答・不明	0	0.0%
合計		21	100%



土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が42.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が38.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が19.0%となっています。

（2）日曜・祝日

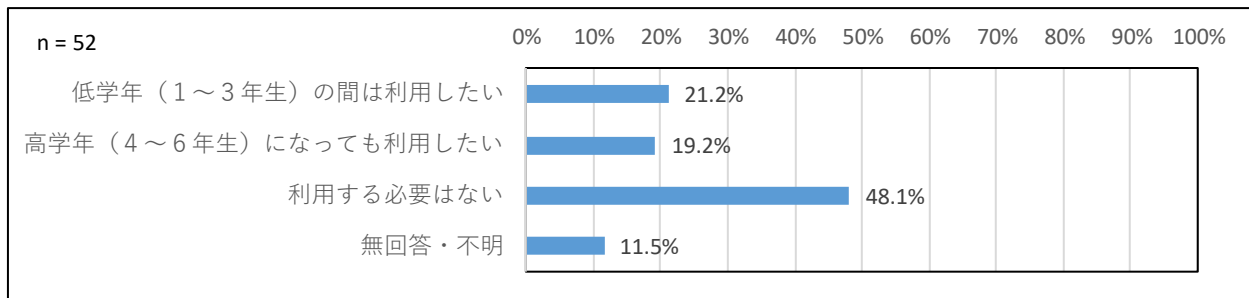
選択肢		人数	割合
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	4	19.0%
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	2	9.5%
3	利用する必要はない	14	66.7%
	無回答・不明	1	4.8%
合計		21	100%



日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が66.7%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が19.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が9.5%となっています。

問13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

選択肢		人数	割合
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	11	21.2%
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	10	19.2%
3	利用する必要はない	25	48.1%
	無回答・不明	6	11.5%
	合計	52	100%

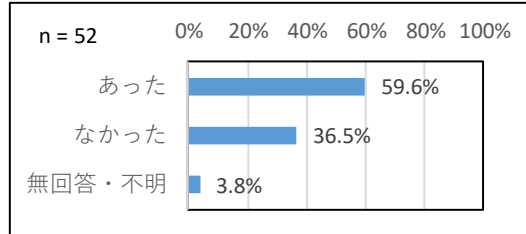


長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が48.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が19.2%となっています。

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問14 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

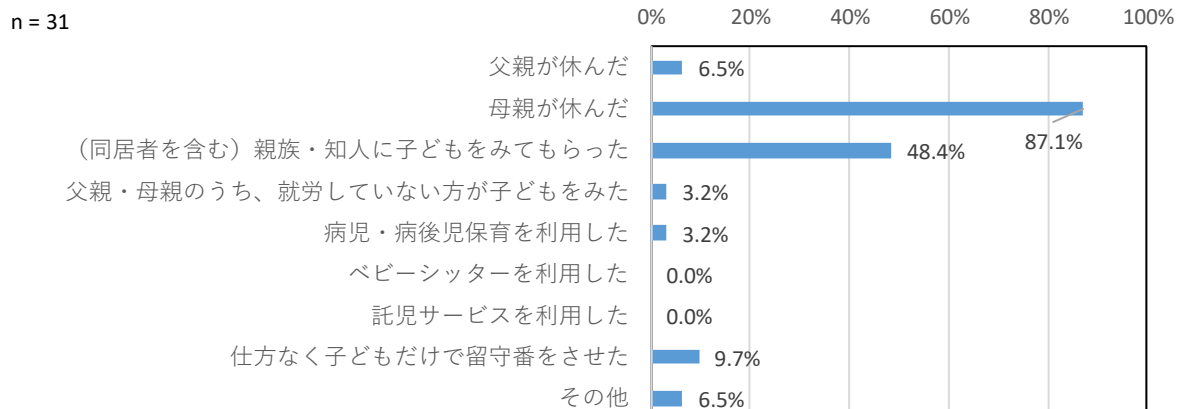
選択肢	人数	割合	
1	あった	31	59.6%
2	なかった	19	36.5%
	無回答・不明	2	3.8%
	合計	52	100%



この1年間に、子どもが病気やけがで平日の学校を休まなければならなかったことは、「あった」が59.6%、「なかった」が36.5%となっています。

問14-1 問14で「1.あった」を選択した方にうかがいます。この1年間に行った対処方法はどれになりますか。（あてはまる番号すべてに○）

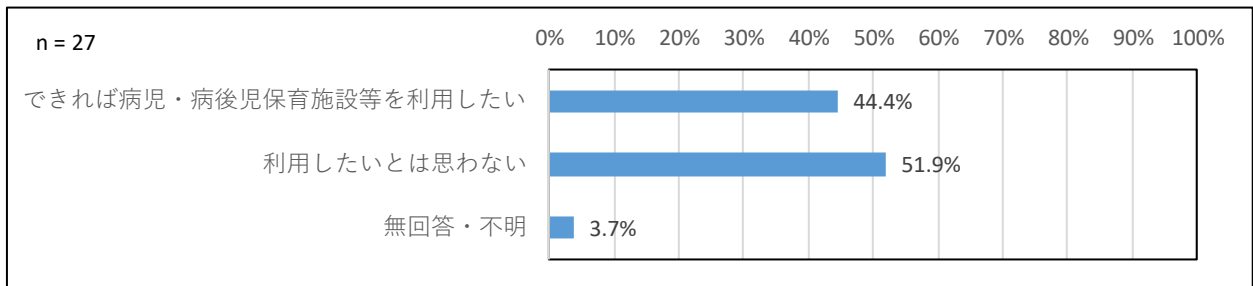
選択肢	人数	割合	
1	父親が休んだ	2	6.5%
2	母親が休んだ	27	87.1%
3	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	15	48.4%
4	父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	1	3.2%
5	病児・病後児保育を利用した	1	3.2%
6	ベビーシッターを利用した	0	0.0%
7	託児サービスを利用した	0	0.0%
8	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	9.7%
9	その他	2	6.5%
	合計	51	165%



子どもが学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が休んだ」が87.1%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が48.4%。「父親が休んだ」と「その他」が6.5%となっています。

問14-2 問14-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。
 (あてはまる番号1つに○)

選択肢		人数	割合
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	12	44.4%
2	利用したいとは思わない	14	51.9%
	無回答・不明	1	3.7%
合計		27	100%

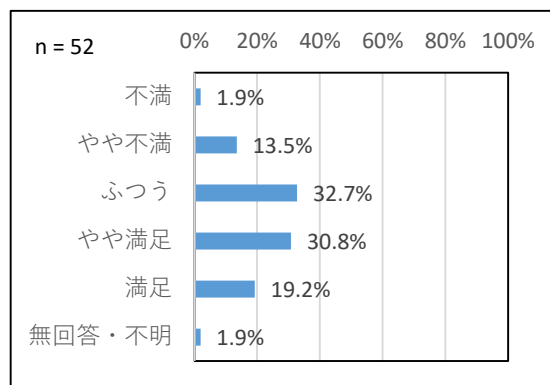


病児・病後児のための保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が51.9%と高く、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が44.4%となっています。

野田村の子育て環境や支援について

問15 野田村の子育て環境や支援への満足度をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

選択肢	人数	割合
1 不満	1	1.9%
2 やや不満	7	13.5%
3 ふつう	17	32.7%
4 やや満足	16	30.8%
5 満足	10	19.2%
無回答・不明	1	1.9%
合計	52	100%



野田村の子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が32.7%と最も多く、次いで「やや満足」が30.8%、「満足」が19.2%となっています。

満足度を5段階で表すと、平均満足度は 3.46 でした。

問16 最後に、野田村の子育て環境や支援に関して日頃感じていることや望んでいることなど、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

（主な意見）

- ・ 保育料や医療費等が無料なので、経済的にとても助かっている。
- ・ 仕事の勤務時間に合わせた放課後児童クラブの開設時間になると使いやすい。
- ・ 習い事やスポーツクラブの選択肢が増えるといい。

○経済的な支援については満足しているという意見が多い一方、制度の充実を望む声が多くみられました。

野田村子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査
結果報告書

発行年月：令和2年2月

発行：野田村

編集：保健福祉課

住所：〒028-8201

岩手県九戸郡野田村大字野田

第20地割14番地

電話：0194-78-2913